

世界のデング熱流行状況(更新 7)

2011年8月7日 ProMED 情報

(1)タイ(クラビ Krabi 県) (8月6日)

同国保健省によると、ピーピーPhi Phi 島で数名の旅行者を含む20名の患者が発生し、旅行者の何名かは病院で治療を受けています。クラビ県全体では380名の患者が報告されました。プーケット島ではここ数年患者発生が減少傾向にあり、2年ぶりに本年上半期に死亡患者1名が報告されました。

(2)ベトナム (8月1日)

今年は、同国では約23,000名の患者、22名の死亡患者が報告されました。また7月だけで約5,000名の患者、8名の死亡患者が発生しました。流行地域は、南部だけでなく北部へも広がっています。

(3)フィリピン(パンパンガ Pampang 州) (8月5日)

患者数が増加しており、JBL 記念病院だけで40名近くの患者が確認されています。

(4)インド

ジャールカンド Jharkhand 州 (8月2日)

ウイルス性発熱患者の血液32検体を検査したところ、2検体でデング熱陽性でした。

デリー Delhi (8月2日)

今月に入り新たに5例が報告され、これまでに患者数は15名に増加しました。東部デリーでは1名の死亡が報告されています。

パンジャブ Punjab 州 (8月2日)

デング熱がルディアナ Ludhiana 県で急速に拡がり、ルディアナ DMC 病院で新たに7名の患者が確認されました。このうち3名はルディアナ県出身です。

(5)タークス・カイコス Turks and Caicos 諸島(バハマ Bahamas とセントルシア St. Lucia からの輸入例) (8月7日)

隣国バハマでの流行に伴い、3名の輸入例が確認されました。バハマから2名、セントルシアから1名です。

(6)トリニダード・トバゴ (8月5日)

先週、トリニシティ Trincity で流行が宣言されてから、デング熱疑いで8歳の少女が1名死亡しました。

(7)ブラジル

リオ・デ・ジャネイロ Rio de Janeiro 州 (8月3日)

保健省によると、同州内で113名の死亡患者が報告されました。州都では40名が報告されました。疑い患者は154,669名で、4月をピークに減少しています。